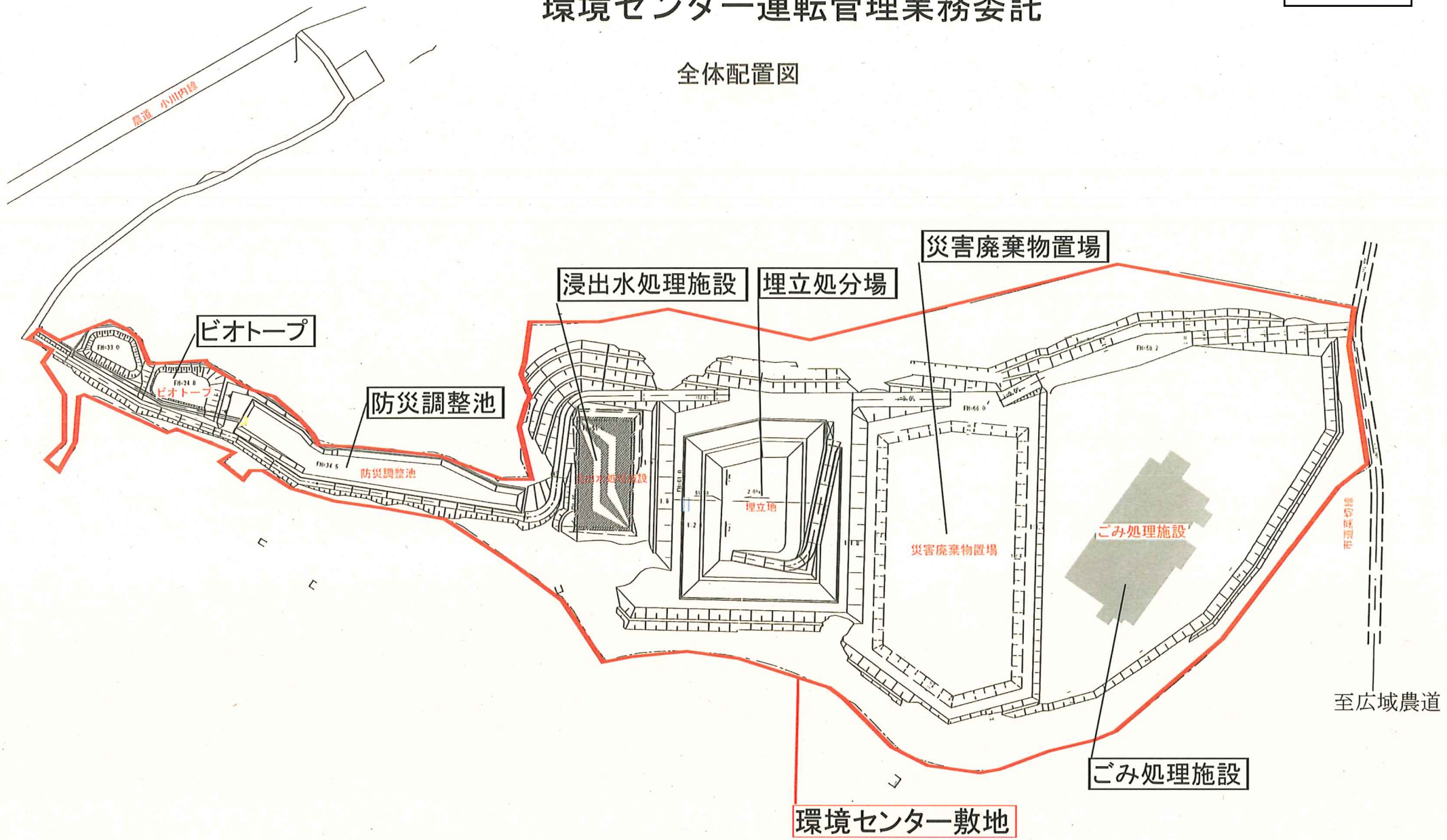
図面１

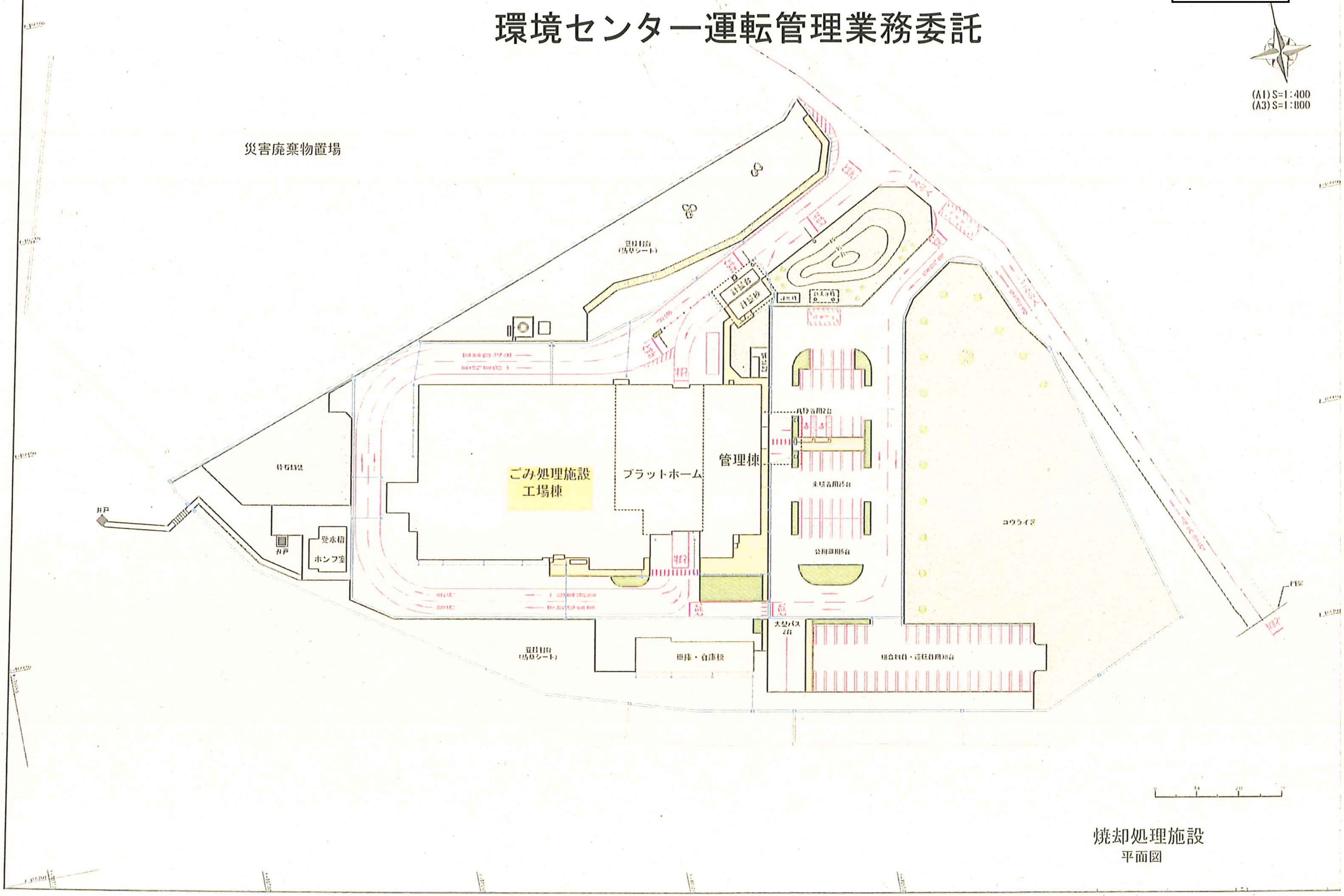
環境センター運転管理業務委託

全体配置図



図面２

環境センター運転管理業務委託



焼却処理施設
平面図

環境センター運転管理業務委託

図面３

□　ごみ処理施設　面積表

（単位：㎡）

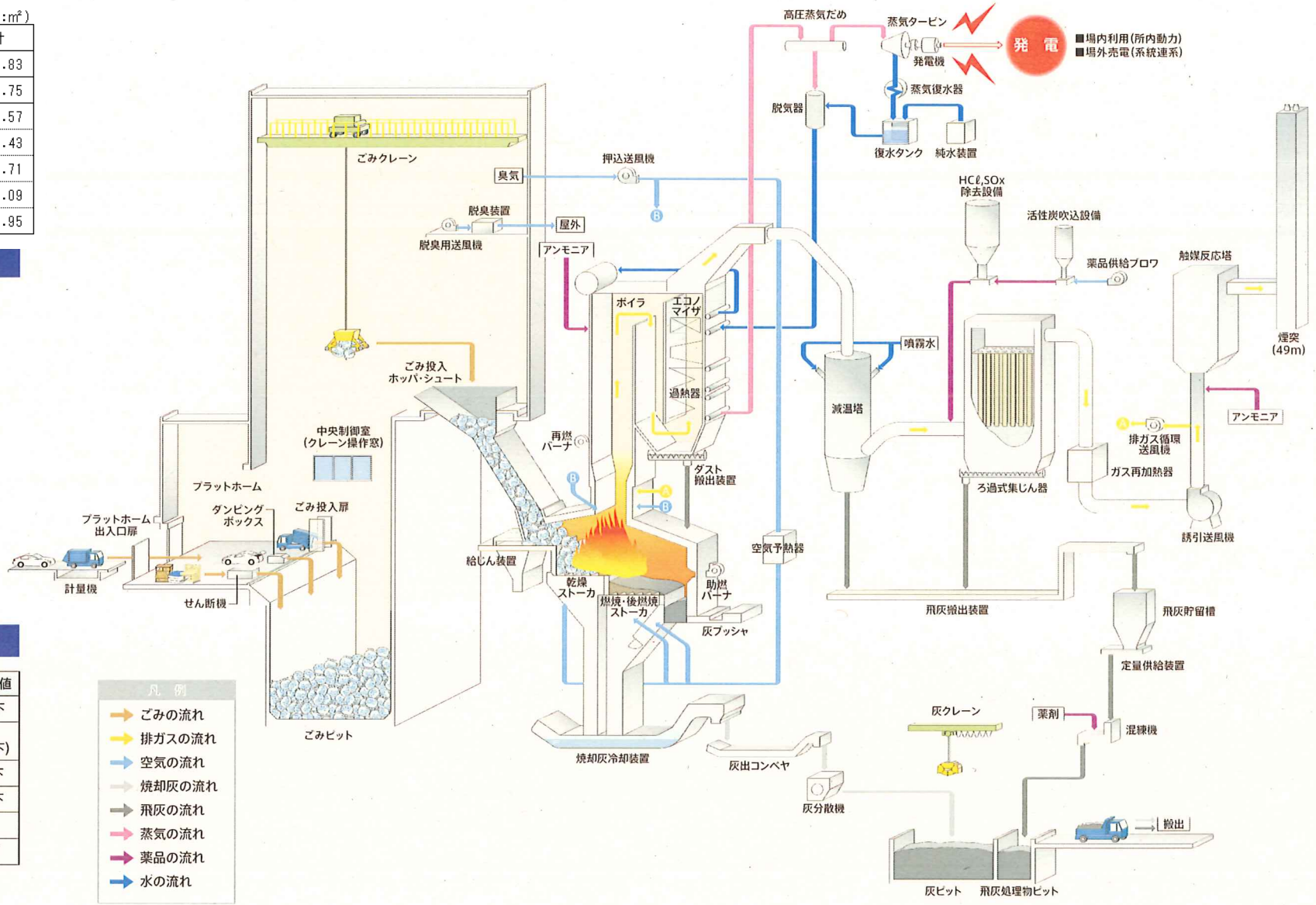
		管理棟	工場棟	合計
建築面積		629.82	3043.01	3672.83
延床面積		1591.57	6045.18	7636.75
内訳	地下1階床面積	0.00	465.57	465.57
	1階床面積	516.17	2465.26	2981.43
	2階床面積	537.70	1237.01	1774.71
	3階床面積	537.70	1141.39	1679.09
	4階床面積	0.00	735.95	735.95

設備概要

- ■焼却炉形式：連続運転ストーカ式
- ■処理対象物：可燃ごみ，可燃性粗大ごみ，可燃性残渣
- ■燃焼ガス冷却設備：廃熱ボイラ
- ■排ガス処理設備：減温塔，HCℓ,SOx除去設備，ろ過式集じん器，触媒反応塔
- ■通風設備：押込送風機，誘引送風機
- ■発電設備：蒸気タービン発電機（定格出力990kW）
- ■灰出設備(焼却灰)：焼却灰冷却装置，灰ピット
- ■灰出設備(飛灰)：飛灰貯留槽，混練機，飛灰処理物ピット

排ガス公害防止基準($O_2$12%換算値)

項　目	計画値	法令基準値
ばいじん(g/㎥N)	0.01以下	0.15以下
硫黄酸化物[SOx](ppm)(K値)	50以下(約0.1)	——(17.5以下)
塩化水素[HCℓ](ppm)	50以下	430以下
窒素酸化物[NOx](ppm)	100以下	250以下
ダイオキシン類(ng-TEQ/㎥N)	0.1以下	5以下
水銀(μg/㎥N)	30以下	30以下



ごみの流れ →

ごみピット内のごみは，ごみクレーンで撹はんして均質化し，ごみ投入ホッパから給じん装置を経て焼却炉内に供給します。炉内のごみは，ストーカ上を移動しながら850℃以上の高温状態で完全燃焼し，灰になります。

排ガスの流れ →

焼却で発生した排ガスは，ボイラと減温塔で冷却され薬品を吹き込み，ろ過式集じん器でダイオキシン類やばいじん等を捕集し，ボイラ，触媒反応塔でのアンモニア吹き込みにより，窒素酸化物を除去してクリーンな状態で煙突から排出されます。

空気の流れ →

ごみピット内の臭気は，燃焼用空気として焼却炉内に送られ，臭気は分解されます。

焼却灰・飛灰の流れ → →

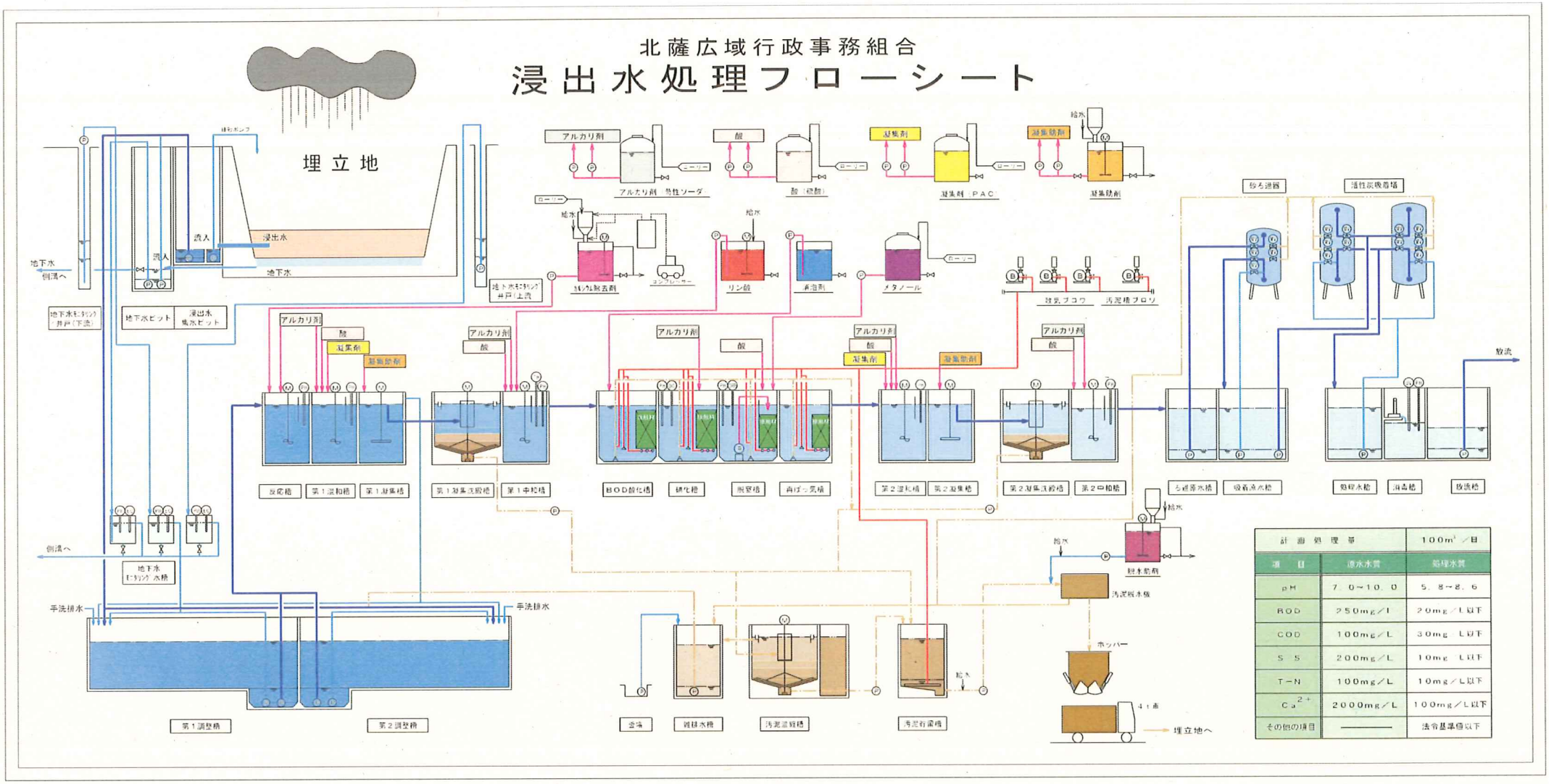
焼却灰は焼却灰冷却装置で冷却されたあと，場外へ搬出されます。また，減温塔，ろ過式集じん器で捕集された飛灰は，薬剤処理後，場外へ搬出されます。

蒸気の流れ・発電の仕組み →

ボイラで排ガスの熱を回収して作られた蒸気は，蒸気タービン発電機で発電に利用されます。発電された電気は施設内で使用するほか，余剰分は売電します。

図面４

環境センター運転管理業務委託



図面５

環境センター運転管理業務委託

搬入道路範囲図